株式会社ジェイコム東京 江戸川局

2022 年度放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2023 年 2 月 17 日（金）10 時より

2. 開催場所

東京都江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀

3. 出席者

委員長 : 茂呂 昌利様
委員 : 浅野 峰司様、尾崎 泰子様、鳴原 和行様、原野 大輝様、彦田 好之様
事業者側 : 江戸川局 局長 小沼 亘、同局 管理部長 鶴沢 伸子、
同局 管理部 尾吹秀一郎、同局 地域プロデューサー 八重樫 まゆみ
映像制作第一部 リージョナルマネージャー 関原 真人
足立事務所 拠点長 大河原 明子

4. 委員長選出 :

茂呂委員長を選任し、挨拶があった

5. 議題（審議番組「江戸川元気！パラダイス」）

各委員からは、審議番組に対して以下のような意見が出された。

- ・げんき〜ずがとても良い。コロナ禍のリモートの時は彼らの良さがあまり出ていなかったが、ロケが始まってからはとても楽しい番組になっている。彼らも 10 年番組に出ているので、江戸川区にも精通してきており、とても親しみを感じる。ぜひ続けていただきたい。
- ・私もげんき〜ずに対しては親近感が出てきたというもあるが、げんき〜ずというコンビだけに元気をもらえる存在で、とても楽しく見させてもらっている。どこか区内のお店へ行ったらげんき〜ずのステッカーがあるとか、江戸川区と一緒に盛上げていく芸人さんというイメージを作っていけたら、もっと良い番組になると思う

・非常に楽しくコミカルなところもありながら、区の魅力がとてつと伝わりありがたい番組。放送回によってはエリアが偏ってしまうことがあるため、地域性という点でもう少し広がりがあればなお良いと思う。

・エリアに偏りがある回は少し残念に思うが、それでも行ってみたいと思わせるお店ばかり。これからも様々な地域のいろいろなお店をご紹介いただきたい。げんき〜ずにはこれからも江戸川の魅力をたくさん発信して欲しい。難しいかもしれないが、学校へ行き、子供たちと絡んだり、強い部活の生徒と対戦したりしても面白いのではないかな。

事業者側からは以下の発言があった。

- ・エリアの偏りについては、収録時より気になっていた点。取り上げた3店舗のうち2店舗は当初よりエリアが重なってしまったが、出演予定の1店舗が収録数日前にキャンセルとなったことから、急遽出演に対応いただけたお店が同じエリアとなってしまったもの。今後、エリア選定はより注意を払い、重ならないよう対応したい。
- ・江戸川元気パラダイスは視聴の促進も図っており、12月からはアプリ「ど・ろーかる」でも視聴可能となった。また、12月特集は視聴者へのプレゼント企画も実施し、応募はTwitterを活用した。過去最高のツイートとなるなど、良い宣伝効果が得られたと考えている。

6. 報告事項

- ・J:COM 江戸川の概況
- ・コミュニティチャンネルでの取り組み

7. その他の番組、放送に対するご意見

各委員から以下の意見があった。

- ・「つながる News」は現在、小岩駅で収録しているが、自分が住んでいる小岩駅が映るのは嬉しい。
- ・「つながる News」については一つ一つのトピックスがちょうど良い内容、時間であり、必要な十分情報が入ってくる。特に小岩駅での収録は地元の人間からすると一目瞭然であり、区民としてはとても良い。
- ・現状のように地元で頑張っている人を取り上げてもらえると、視聴も広がると思う。視聴世代はどこをターゲットにしているのか？
- ・出演時のマスクが気になる。屋外の収録であれば大丈夫そうな気がするが？
- ・「つながる News」を収録しているファスタ小岩は眺めも良く、良い場所にあるが、出演者は夏は暑いし、冬は寒い。時間が短いからというものでないのか、そのあたり考慮しても良いのでは？また、荷物の置き場や控え室など用意できれば良いのではないかな。
- ・「ジモトに乾杯！居酒屋秀ちゃん」は、地域の人にフォーカスした内容だが、教育番組のような堅苦しさもなく、バラエティ要素があるととても良い番組。
- ・「ジモトに乾杯！居酒屋秀ちゃん」は、地域のいろいろな人が出て、その人の魅力を引き出すとても良

い番組。知り合いが出れば必ず見るし、司会の秀ちゃんの会話の引き出し方がうまい。

・「ふくあじ」は昭和の懐かしい感じが全面に出ていてとても良い。昭和も一部ブームになっており、こういう番組は視聴層が広がるのではないか。区内の番組はまだ放送されていないようだが、他の地域のお店でもついつい見てしまう。

・少年野球など地域の少年少女スポーツを取り上げているのはとても良い。ただチーム紹介含めて、もう少し大会についても分かりやすく伝える工夫があっても良い。

・地域の子供たちが出ているいろいろなスポーツ大会を伝えるのは、親御さんなどを含め視聴促進につながり、とても良い。ドキュメンタリー的に裏側なども伝えても良いのではないか。負けたチームの監督の言葉やチームの様子などを伝えても興味深い内容になると思う。

・J:COM 旗少年野球は毎年楽しみに見ている。子供たちの減少やコロナ禍などで少年サッカー、野球、大人の草野球などもチーム数が減ってきている。こういう番組は地域活性化につながり、とても良いと思うので、ぜひ続けていってほしい。

・今年に関東大震災から 100 年の節目の年。特に 9 月は防災の日もあることからとても重要な月になるため、その月は防災をメインに取り上げてほしい。中でも子供たちには特に防災を身近に感じてもらいたいので、積極的に取り上げていただきたい。

・全体的に番組で出る地図が分かりにくいので、QRコードなどが張ってあると調べやすい。

・アプリ「ど・ろーかる」について、アイコンはオレンジが目立ち、とても良いが、もっと中身を見やすくしてほしい。特にニュース番組では江戸川のニュースだけをチェックしたいができない。またアーカイブも日付が並んでいるだけで検索しにくいので、もっと見やすくしたら視聴促進につながるのではないか。

・J:COM の視聴状況について現状を教えてください。

事業者側からは以下の発言があった。

・J:COM のコミュニティチャンネルは、50 歳以上の在宅時間の長い方が多く視聴している傾向にあるが、ニュースの番組に関しては、幅広い世代の方に分かりやすく地域の情報、地域の姿、頑張っている方などを伝えていきたいため、地元のオール世代に向けた作りになっている。

・現在、J:COM ではコミュニティチャンネルのガイドラインに沿って収録しているが、ガイドラインも新型コロナの 5 類移行に合わせて変わっていくことが予想されるため、マスク着用もだいぶ緩和されてくると考えている。

・江戸川区 34 万 5 千世帯のうち、視聴可能世帯は 22 万世帯で約 64% をカバー。全国的に見ると平均的な数字だが、江戸川区においては集合住宅の改修が課題。区内の改修状況は約 70% でマンションやアパートで J:COM のサービスが導入されている。残り約 5 万世帯が、テナントビルや地中化されているマンションなどで J:COM の設備が導入できていない状況。ただ、サービス導入を希望いただいている物件では、ほぼ無償で改修工事を行い、ほぼ 100% に近い状態でサービスを導入できており、この結果も含めて現在カバーしている 64% の世帯となる。

また、戸建住宅は 30% の加入率となり、戸建住宅約 9 万世帯のうち 3 万世帯が導入済。これら、戸建ての方にご加入いただくと接続世帯は上がる形。

また清新町あたりのエリアは UR 物件が多いが、この地域は地中化されており、接続する場合はダークファイバーという光を使ったサービスを導入することになるが、大きな設備投資が必要となる。しかしながら、加入の見込みがあれば、数年計画にはなるが、会社としてはもちろん対応していく。

以上